

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	鈴木 とも恵
主な担当科目	
2024年の教育目標・授業に臨む姿勢	個々が毎回のレッスンで達成感を感じられる様な指導と、声を出す楽しさを持てるレッスンを心掛ける。そして、次回のレッスンまでの問題解決と練習方法を指導をする。
2024年の教育に関する自己評価	体調管理、モチベーションの高さ、練習時間の確保等によって、其々の成長を実感している。学年があがるにつれて、声を出す事だけでなく、オペラ全体を通した内容や、イタリア語にも興味が広がり意欲的な取り組みが感じられた。
2024年のFD活動に関する自己評価	FD研修会では他の部会や非常勤の先生方と学生の問題や授業の運用上の問題を共有できる貴重な機会である。問題点を共有し、解決に向けて方向性を導き出せた。
授業改善のために取り入れた研修内容	FDでは特に、留学生とのコミュニケーションの取り方について問題提起される意見が多かった様に思われた。留学生が益々増える傾向にあるが、具体的、授業が円滑に進めていける様、議論を継続する必要がある。

2024 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:1731 教員名:鈴木とも恵

1)アンケート結果に対する所見

本授業の満足度は肯定的回答が 100%を占め、全体として高い評価が得られた。一方で、今回のアンケート回答者数は 6 名と少数であるため、結果は一つの参考値として慎重に捉える必要がある。

自由記述では、論文執筆の基本的な枠組みや進め方の説明が「助かった」と高く評価された一方で、より具体的で専門的な指導を求める声が複数見られた。

学生の満足度は高いものの、卒業研究科目として求められる「体系的な論文作成指導」について改善余地があることが示唆される。

2)要望への対応・改善方策

自由記述に基づく要望は大きな問題点ではないものの、以下のように改善可能と考える。

- ・ 授業資料の整理と提示方法の統一
- ・ 授業進行のスピード調整
- ・ 学習支援資料の充実

3)今後の課題

論文指導内容の体系化と標準化

教員間での指導基準の差異をできるだけ減らし、学生が迷わず執筆できる体制を整えることが課題である。

以上